



理 念

働く人と地域のために
患者中心の最善の医療を実施します

Contents

診療科の紹介 精神科……………	1
マンモグラフィ装置……………	2
関東労災病院の連携医療機関紹介……………	3

精神科



部長 芳賀 高浩

平成30年8月より前任の金川部長の診療を引き継ぐかたちで関東労災病院精神科に赴任しました芳賀と申します。よろしくお願いいたします。

当科の特徴としては精神科病床をもっていないこと、総合病院の一部門であることがあげられます。よって、1)身体疾患をお持ちの患者さんに合併する精神的な不調、2)精神疾患をお持ちの患者さんが身体疾患に罹患した際の精神疾患の併診、3)身体愁訴を主訴とした場合の精神疾患の鑑別、に特化した形で診療をさせていただいております。

月、火、木、金に新規患者さんの受け入れをさせていただいておりますが、精神科医は一人体制のため、学会等で不在の場合がありますので、新規患者さんにつきましては、完全紹介予約制としておりますので、予約センター経由でご予約をお取りいただければと思います。精神科医は一人体制でありながら、常勤の精神科専門看護師、臨床心理士が所属しており、比較的恵まれた環境で診療をさせていただいております。

私自身が精神保健指定医ですが、総合内科専門医、呼吸器専門医でもありますので特に身体疾患と精神疾患の鑑別が問題になる病態の診断と治療を得意分野としております。

診療内容

■リエゾン精神医療

リエゾンとは、「連携」や「橋渡し」を意味しています。当科は身体疾患で入院中の患者さんにおこりうる、不安、不眠、抑うつ、せん妄などの精神症状や心理的な問題に対し適切なサポートが行えるよう、身体疾患の主治医や担当看護師と「連携」しながら診療を行っております。

■身体疾患との鑑別が問題になる精神疾患の診療

身体的な愁訴で医療機関につながり、身体的には異常がみられないと診断されたため、多くの科を受診され、医療機関を転々とされる患者さんがいらっしゃいます。老年期のうつ病など精神疾患と診断される場合もあり、このような患者さんは是非地域の先生方と連携をとりながら診療させていただきたいと考えております。

■一般精神科診療

統合失調症、うつ病、双極性感情障害、アルコールをはじめとする依存症、パーソナリティ障害などの一般精神科診療も行っております。しかし前述したように当院には入院病床はなく、デイケアも行っておりませんので特に身体疾患を合併した患者さんなど、総合病院の精神科外来に通院するメリットが患者さんにある場合に、継続通院していただこうと考えております。

マンモグラフィ装置を更新しました

最新鋭のマンモグラフィ装置

GE社製Senographe Pristina™の導入

乳癌罹患に対する早期発見の重要性が増している近年、当院でも乳腺疾患に対する高い医療の提供を目指し、マンモグラフィ装置を更新しました。

本装置は受診者の快適さを追求し、痛みをはじめ受診者が感じる不快感を取り除き、快適に検査を受けられる工夫が施されています。さらに、無理のない姿勢でのポジショニングを装置がサポートすることで、車いすのかたでも負担なく撮影でき、あらゆる層の受診者に対応することが可能となりました。



新たな手技の導入

トモシンセシスとマンモトーム生検

トモシンセシスは乳腺の重なるの少ない断層画像を得ることができる検査です。2Dと同等の線量で実現させた3D（デジタル・プレスト・トモシンセシス）機能を新規導入することで診断能の向上に貢献する環境を整備しました。

また、新たに新設した撮影室は、ステレオガイド下マンモトーム生検システムにも対応可能で、安全で迅速かつ正確な生検を実施することが出来ます。

検査室が新しくなりました

乳腺疾患に特化した環境と専用待合室

新設の検査室は、温かみのある雰囲気やBGMなど、受診者のかたにリラックスして検査を受けていただけるようホスピタリティの向上にも取り組みました。

当院では、乳腺専門医・検診マンモグラフィ読影認定医師・検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師による管理のもと、安心して受診していただける万全の体制を整えています。地域医療連携におきましても、プレストセンターを積極的に利用していただくことにより、高い水準の医療を提供できることと考えています。





関東労災病院では、地域の医療機関との連携を一層密にして、患者さんに一貫性のある医療を提供するために地域医療連携を推進しております。このコーナーでは関東労災病院の連携医療機関としてご協力いただいている先生方を紹介していきます。

しまむらクリニック

【理念・治療方針】

心のこもった質の高い医療を提供し、皆さまに信頼され、気軽に相談していただけるかかりつけ医をめざして日々努力を重ねて参ります。



院長：
島村 健



院長：島村 健
住 所：川崎市高津区子母口497-2 子母口クリニックモール1F
TEL：044-788-0008
HP：http://www.shimamura-clinic.jp

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●		●	●	●
13:00~16:00	△	△	△		△	△	△
16:00~19:00	●	●	●		△		

休診日：木曜、土曜夕方、日曜夕方、祝日
△：訪問診療および大腸カメラ

——医師を目指されたきっかけは？

医師への夢を抱いたきっかけは、小学校3年生のころに38度の発熱が2週間続き川崎病を患った時に会った先生でした。不安で<このまま死ぬんじゃないか>とまで思ったのですが、診察のたびに私を励ましてくれ、常に笑顔で対応してくれた医師に憧れました。子供の私からするとその先生はスーパーヒーローのように映りました。

——先生の専門分野を教えてください。

開業するまでは大学病院で臨床腫瘍科・消化器内科に属しておりました。肝・胆・膵がんの臨床治験などを担当しておりましたが、開業して6年経ちましたので今の私の専門分野は開業科と訪問診療科だと思っています。糖尿病科・循環器科などと同じように開業科（実際には医学講座としては存在していませんが…）です。総合内科が近いかもしれませんが、内科だけでなく幅広い分野を網羅して医学知識として把握できるように努力をしています。また、患者さんが住み慣れたご自宅で安心して療養できる治療をサポートでき

る訪問診療科が自分の専門分野だと思っています。

——診療で意識されていることはありますか。

まずは患者さんが受診しやすいクリニックであること、何らかの症状があって苦痛を伴う患者さんがどんなことでも気軽に医師に相談できるようにしたいと思っています。＜歯が痛い＞＜熱がある＞など、なんでも相談してもらえるかかりつけ医になることを一番意識しております。もう一つは、平日仕事で病院受診ができない方でも、当院では土曜日・日曜日でも外来診療・院内迅速採血検査・胃カメラ・大腸カメラ・全身エコー検査などすべての検査できるようにしており、休日でもしっかり専門的な検査・診断・治療ができるように努力しております。

——地域連携について

小さなクリニックとしては地域連携のシステムがあることをとてもありがたく思っており、本当に病院の先生方には感謝いたしております。クリニックで検査・治療できる範囲は限られており、また訪問診療さ

せていただいている患者さんのお宅で御家族さまが介護できる範囲も限られております。どうしても病院受診をさせていただき専門的な検査・入院治療をしていただくことが必要不可欠です。そんな時間関東労災病院さんは、地域の基幹病院として立派に貢献され、休日・夜間でも緊急入院の受け入れをしてくださり大変感謝いたしております。また、労災病院の先生方からもクリニックへ患者さんの問い合わせの御連絡をくださいますので、スムーズな対応が出来とてもありがたいです。以前自分が勤務していた大学病院では、自分達の臨床治験にそぐわない患者さんの検査・入院をお断りしておりましたが、今となっては本当に自分が恥ずかしいことをしていたのだと後悔しております。今後とも皆様にご指導いただきながら私も地域貢献できるように努力し続けたいと思っています。

